

令和7年度 西大村中学校 学校評価報告書（12月実施分）

1 教育方針

人間尊重の精神を基本とし、教育基本法及び長崎県教育方針、大村市教育方針に則り、学校教育目標の具現化及び努力目標の達成を目指す。生徒・教職員・保護者・地域が一体となり、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かであり、かつ生きる力を備えた生徒を育成する。

教育は子どもたちのためにあることを深く胸に刻み、「生徒ファーストを基本として、生徒一人一人を大切に教育」を推進する。そのためには、職員一人一人が、使命感に徹し、深い教育愛と豊かな指導力を身に付け、生徒・保護者・地域から信頼される教育者を目指すことに最善を尽くす。

また、保護者や地域と連携・融合することを強く意識しながら、特色ある社会に開かれた学校づくりを推進する。

2 学校教育目標、目指す生徒像・学校像・教師像、育成したい資質・能力

【学校教育目標】「豊かに育つ生徒」（「挑戦」と「創造」）

【目指す生徒像】

- ・思いやりを持つことができる生徒（徳）
- ・学力の定着に努める生徒（知）
- ・地域で活動し自己有用感を持てる生徒（体）

【目指す学校像】

- ・明るく活気に満ちた学校
- ・学力の向上を目指す学校
- ・地域とともに歩む学校

【目指す教師像】

- ・生徒への愛情溢れる職員
- ・自らを高める職員
- ・心身ともに健康で人間性豊かな職員

3 校訓 「親和」「求学」「創造」

4 今年度のテーマと各重点努力目標

テーマ：「キャリア教育とふるさと教育の充実」～「生徒ファースト」を根底に据えて～

（1） 明朗な人の育成（人間基礎力の育成を生徒指導の力で！）

【資質・能力】基礎的な知識及び技能を習得している。心身を鍛え、礼儀正しいあいさつができる。

①あいさつの徹底

- ・爽やかなあいさつを意識させ、凡事徹底、率先垂範して取り組む。特に、学校外の方々へ自ら進んでできるようにする。

②個に応じた指導、丁寧な対応

- ・常に特別支援教育の視点を持ち、各生徒の個性や発達段階を見極め、情報を収集し、柔軟な対応や合理的配慮など、教育のプロとして丁寧に対応する。
- ・特に、学校生活に不安や課題がある生徒に対しては、自信や目標を持たせることに注力する。
- ・不登校生徒への対応（欠席：1日目→電話連絡、3日目→家庭訪問を基本、リモート授業＋顔見せ確認＋課題提出＝出席扱いにする。

※生徒も教師も「助けて」が言える。孤立しない居場所づくりに注力する。

③「ありがとう」を届け合う活動の推進

- ・C4th「いいとこみつけ」の活用（例：帰りの会で「今日のありがとう」→入力する）

（2） 期待される人の育成（社会を生き抜く力の育成を授業や行事、部活動の力で！）

【資質・能力】思考力・判断力・表現力を身に付けている。自分を律して決まりを守り、相手にやさしくできる。

※「豊かな学力」と「確かな育ち」を意識

（「豊かな学力」とは、心の伴った生きて働く学力のこと。「確かな育ち」とは、当該学年で付けるべき力を確実に付けて次の学年へと送り出すこと。）

①「『西中スタンダード』の推進と充実」と「中央小との授業連携の推進と充実」

②「AIドリル」を活用した、単元末（章末）の充実と成績の見える化

③一人一台端末を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実

④「チーム教科担任・道徳制」の充実と授業の共通実践や学習規律の徹底（＝校内研修の充実）

⑤各行事と生徒会活動の活性化

- ・生徒に役割を与え主体的に動かす。「失敗も経験と捉え支援する」
- ・「ひまわり計画」を拡大

⑥部活動（「地域展開への動き」も意識しながら）

- ・ガイドラインを遵守し、生徒に主体的に取り組ませる。
- ・複数顧問の部は交代による指導。外部指導者や保護者との協力。

(3) 感謝できる人の育成（豊かな人間性の育成を外部の力を借りながら実現！）

【資質・能力】自分の夢や目標に向かって、主体的に学習に取り組み、最後まで粘り強く努力し、他者に感謝することができる。

①開かれた学校・地域とともにある学校づくりの推進

- ・毎月15日を「学校に行こうの日」とし、学校開放日の授業参加日にする。（15日が土曜の時は前日の金曜日、15日が日曜の時は翌日に変更して実施する）
- ・会議室をPTAに開放する。毎月15日に「おとなの学び教室」を開催する。

②地域人材・資源を生かした「総合的な学習の時間」

- ・1年生：「地域を知る」（「夢授業」を核に）、2年生「地域に学ぶ」（ウォークラリーを核に）、3年生：「地域に還す」（大村の偉人の劇を核に）

③コミュニティスクールの推進

(4) 働き方改革

※ルーティン業務（C4thの入力・活用、出勤簿等）を確実に実行。メリハリのある教育課程づくり

目的：①仕事の質を向上させること

②自分自身や子どもたちと向き合う時間を増やすこと

目標：①超過労働時間45時間未満に挑戦

②年休：15日以上取得に挑戦

取組：①定時退勤日の設定

・毎週水曜日はリフレッシュデー＆ノー部活動デー

・アニバーサリー年休のすすめ

②労働環境改善の知恵を出す（GIGAスクール構想を取り入れた取組等を考える）

5 令和7年度 西大村中学校「合い言葉」 「 プライオン 思いを力に！ 」 ～ 生徒・職員・保護者・地域 ～

6 教師集団の柱、各学年のハイブリッド担任制（固定型、ローテーション型、協働型、支援型）について

①学級担任のハイブリッド化

○学級担任の呼称を学級担当へ

○学年単位で、学年の実情に応じて固定時期やローテーション時期を定める。

②教科担任のハイブリッド化

◆ハイブリッド学級担当制で期待される効果

【生徒・保護者にとって】

①さまざまな目で学級の一人一人の生徒を見るため、変化に気づく機会が増える

②生徒・保護者が多くの先生方と人間関係を築く機会が増える

③教員が出張等で不在であっても、基本的な担任業務に支障がない

④教育相談等がチームで日常的にできるため、常に安心・安全な教育環境が提供できる

⑤保護者からの相談も複数で受けることができ、深刻化を防ぐことができる

⑥学習指導（授業）が充実し、学習内容の定着や向上を図ることができる

【学校・教師にとって】

①教職員としての経験年数にかかわらず、資質向上や指導力の向上につながる

②教師自身の学校運営・学級経営への参画意識が向上し、「学校力」の向上につながる

③教師の得意分野を生かすことができる組織となり、魅力的な学校づくりにつながる

④教職員の働き方改革（担任業務のシェア）につながる

例：・学級通信を廃止し、学年通信を輪番あるいは部分担当で作成する

・業務を互いにシェアすることで、過重労働の分散化や若手教員のOJTとなる

・地域人材を補助・支援員として活用する

7 学校評価アンケート結果

※表は、「わからない」を除く全ての回答すべてを平均値で表したものの(4が満点)
 ※7月より0.3ポイント以上上昇したものは青、下降したものは黄色

領域	領域	質問内容	アンケート結果								結果の考察	
			生徒		保護者		地域		教職員			
			7月 453名	12月 424名	7月 217名	12月 228名	7月 13名	12月 14名	7月 38名	12月 30名		
明 朗 な 人	心 の 教 育 ・ 生 徒 指 導	1 学校の教育方針や教育目標が理解できる	3.4	3.3	3.2	3.2	3.7	3.6	3.8	3.7	<p>生徒 多くの項目で3.3～3.5前後と比較的高い評価となっており、学校生活全体に対する満足度は概ね良好である。特に、心の教育・生徒指導に関する項目は安定して高い数値を示している。一方で、落ち着いて学習する態度は、他と比べてやや低めの数値であった。また、「リフレッシュタイム」は、取組の目的が十分に実感しきれていない層が一定数存在することがうかがえる。7月と12月の比較では、多くの項目が横ばいまたは微減となっており、取組の継続性や新たな刺激の必要性がある。 → 生徒は安心して学校生活を送っているが、主体的な学習態度や生活面の自己管理能力の育成が課題である。</p> <p>保護者 全体として3.0～3.3前後の評価が多く、学校運営への一定の信頼がうかがえる。一方で、3.0に満たない評価も散見されること、7月から12月にかけて数値が横ばいまたは低下している項目もあることから、もっと対応してほしいと望んでいる保護者が一定数いることがうかがえる。学力向上に関しては、「わからない」の回答が20%を超えている項目もあった。家庭での生活習慣や学習状況に関する項目では、生徒・教職員評価と比べてやや低い傾向が見られる。 → 学校への信頼はあるものの、学習面など取組の成果が家庭に十分伝わっていないことが課題である。</p> <p>地域 回答数は少ないものの、多くの項目で3.4～3.7程度と高い評価が示されている。一方で、「わからない」の割合が非常に高い項目が多く、学校の取組が地域に十分認識されていないことが課題として明確である。コミュニティ・スクールや地域学習については一定の評価があるが、関わりや深さには差が見られる。 → 学校全体への印象は良好だが、教育活動の具体が地域に十分共有されていない。</p> <p>教職員 はほぼすべての項目で3.5以上と非常に高い評価となっており、教育活動への自負と共通理解が図られている。「分かる授業づくり」「生徒理解」「組織的な支援体制」などについて、取組が順調に進んでいると認識している。一方で、他の立場との評価差が見られる項目もあり、教職員の実感と生徒・保護者の受け止め方に差が生じていることがうかがえる。 → 組織としての取組は充実しているが、成果の伝え方や可視化が今後の課題である。また、困り感をもつ生徒や保護者がいることを意識し、寄り添う姿勢を大切にする必要がある。</p> <p>〈領域別 今後の取組〉 心の教育・生徒指導 ・生徒が「大切にされている」と実感できる日常的な声かけや関わりを継続する。 ・あいさつ、時間厳守、感謝の気持ちなど、生活面を意識化・価値づける指導を全教職員で共通理解する。 ・チーム制の取組(学年・道徳・教科)については、生徒が「よかった」と実感できるよう、目的や成果を明確にする必要がある。</p> <p>学力向上 ・「西中授業スタンダード」に従って、「分かる」から「できる」への段階的指導を意識する。 ・教科担任間の連携を深め、学習内容の定着を図る取組を継続する。 ・ICT活用については、目的を明確にし、学びの質を高める活用を進める。 ・家庭学習の習慣化に向けた、家庭と連携した取組を進める。</p> <p>環境教育 ・清掃や整理整頓を「作業」ではなく「学び」として位置づけ、日常的な指導の積み重ねを大切にする。 ・環境教育と道徳・総合的な学習の時間との関連付け、生徒自身が「環境や安全について考え、行動できるよう、主体性を育てる指導を工夫する。</p> <p>家庭・地域連携等 ・各種通信や学校ホームページを通じて、学校の取組や教育の意図を、分かりやすく・具体的に発信する。 ・「地域とともに育つ学校」という意識を共有し、行事や地域学習をとらえて、学校教育への理解と参画を促す。 ・家庭と連携し、学習習慣や生活習慣の定着を支える取組を進める。</p>	
		2 生徒(お子様)は、学校に楽しく登校している	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3		3.3
		3 学校は、一人一人を大切にしている	3.4	3.3	3.0	3.0	3.5	3.6	3.7	3.7		3.7
		4 学校は、厳しさや温かさのある指導に努力している	3.4	3.3	3.1	3.1	3.4	3.4	3.6	3.6		3.6
		5 学校は、命の大切さや思いやりの心を育てる努力をしている	3.6	3.5	3.1	3.1	3.4	3.4	3.7	3.7		3.6
		6 学校は、いじめがないように、生徒の悩みや相談に親身に対応している	3.4	3.3	3.0	2.9	3.7	3.5	3.7	3.7		3.7
		7 学校は、病気やけがに対する、健康に配慮した指導がなされている			3.1	3.0	3.6	3.7	3.6	3.6		3.6
		8 不登校等の生徒の指導にあたっては、関係機関と適切に情報交換し、連携が図られている							3.5	3.5		3.5
		9 支援を要する生徒の情報共有、共通理解、支援が組織的にできている							3.6	3.4		3.4
		10 生徒(私)は、元気があいつつ自分からすることができている	3.2	3.2	2.9	2.9	3.3	3.2	3.0	2.9		2.9
		11 生徒(私、お子様)は、感謝の気持ちを伝えることができている	3.5	3.5	3.0	3.1	3.2	3.3	3.2	2.9		2.9
		12 生徒(私、お子様)は、時間を大切に守ることができている	3.2	3.2	2.7	2.8	3.3	3.4	3.0	2.6		2.6
		13 生徒(私、お子様)は、スリッパや靴ならべをきちんとできている(保護者・家庭で)	3.5	3.5	2.3	2.5			2.7	2.4		2.4
		14 チーム学年担当制は、生徒にとってよかった	3.4	3.3	3.2	3.1			3.1	3.2		3.2
		15 チーム道徳制は、生徒にとってよかった							3.6	3.6		3.6
		16 チーム教科担任制は、生徒にとってよかった							3.4	3.4		3.4
期 待 さ れ る 人	学 力 向 上	17 授業は分かりやすい(教職員:教材研究や分かる授業づくりに努めている)	3.4	3.3					3.5	3.4		
		18 生徒は、授業によく取り組んでいる	3.3	3.3			3.3	3.4	3.3	3.2		
		19 学校は、教科担任で連携し、学習内容の定着を図る授業を実践している	3.4	3.3	3.0	2.9	3.3	3.3	3.4	3.5		
		20 学校は、「分かる授業づくり」の手段として、ICT機器を有効活用している	3.2	3.2	3.0	2.9	3.3	3.3	3.3	3.4		
		21 学校は、秩序があり、生徒は落ち着いて学習している	2.9	2.8	2.9	2.9	3.2	3.6	3.5	3.1		
		22 学校は、図書室の効果的な活用(本の貸し出しや調べ学習など)がなされている	3.4	3.2					3.2	3.1		
		23 学校は、地域の歴史や文化を学ぶ学習を充実させている(地域学習など)	3.4	3.5	3.1	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4		
		24 学校は、ALTを活用した外国語教育や異文化理解の学習が実践できている	3.5	3.5	3.1	3.1			3.5	3.6		
		25 生徒(私)は、係活動や生徒会活動によく取り組んでいる	3.4	3.4					3.4	3.3		
		26 昼休みの「リフレッシュタイム」は効果を感じている	3.0	2.8					3.1	2.8		
感 謝 さ れ る 人	家 庭 ・ 地 域 連 携 等	27 学校は、掃除が行き届いていて、整理整頓されている(教職員:清掃指導等も率先垂範し、環境教育に気を配っている)	3.1	3.0			3.5	3.6	3.3	3.3		
		28 学校は、危険箇所などを点検し、安全配慮に努めている	3.4	3.3	3.1	3.1	3.6	3.6	3.4	3.2		
		29 学校は、各種通信・電話等で学校や生徒の様子等を保護者に知らせている(生徒:学校からの文書や「たより」を保護者に渡している)	3.4	3.2	3.2	3.2	3.8	3.6	3.5	3.5		
		30 学校は、保護者からの相談に親身に対応している			3.2	3.1	3.7	3.6	3.7	3.7		
		31 学校は、授業や学校行事に参加する機会を多く設けている			3.3	3.2	3.6	3.6				
		32 学校のPTA活動は、充実した取組ができている			3.0	3.0	3.4	3.3	3.3	3.3		
		33 コミュニティスクールの効果的な推進が図られている(生徒:地域学習等も大切で学びがいがあると感じている)	3.4	3.4	2.9	2.9	3.6	3.5	3.1	3.0		
		34 生徒(私、お子様)は、情報端末やインターネット利用のルールを守っている	3.6	3.3	2.9	2.9			2.7	2.5		
		35 家庭では、学校のことや将来のことを話し合ったり、自分の悩みを相談している	3.1	3.1	3.2	3.2						
		36 小中の接続を意識した連携が進められている					3.5	3.7	3.4	3.2		
37 学校は、働きがいを感じる職場である。							3.6	3.5				

8 保護者・地域の意見

項目	内容
心の教育・生徒指導	「教職員やPTA・地域の皆様のサポートに感謝している」、「子どもたちの成長を感じている」等のお声をいただきました。また、子供たちへの励ましの言葉も多かったです。反面、落ち着かない生徒への生徒指導、生徒同士のトラブルやいじめに対しては、しっかりと対応してほしいというご意見をいただいています。
学力向上	「自分なりに勉強を頑張っている」や「総合的な学習の時間の授業参観では、皆で協力して、良く頑張っていた」というお声がありました。受験に関しては、「高校ごとに願書提出の方法が異なるため、分からないところが多く不安だったため説明がほしかった」というご意見をいただいています。
家庭・地域連携等	教職員の日々の指導や見守りに対し、感謝の言葉を多数いただきました。また、「校長の学校通信を楽しみにしている」というお声もいただいています。「様々な事にチャレンジし、充実した学校生活を送ってほしい」「成人すると楽しいことばかりでは無いので、やりたく無いこと、楽しく無いことをやり遂げる、ということを経験してほしい」等、生徒たちへのたくさんの温かいメッセージをいただきました。

9 令和7年度3学期の取組

<p>1 心の教育・生徒指導</p> <p>(1) あいさつの徹底 + 言葉を大切に（丁寧に適切かつ温かみのある言葉を意識する・させる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやかなあいさつを意識させ、凡事徹底、率先垂範して取り組む。特に、学校外の方々に自ら進んでできるようにする。 <p>(2) 個に応じた指導・丁寧な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒も教師も「助けて」が言える。孤立しない居場所づくりに注力する。 <p>2 学力向上</p> <p>(1) 「西中授業スタンダード」と「中央小との授業連携」の推進と充実</p> <p>(2) 一人一台端末を活用したAIドリル、「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実</p> <p>(3) 各行事と生徒会活動の活性化→次期生徒会に期待！！</p> <p>3 家庭・地域連携等</p> <p>(1) 卒業式に集約した取組の実施</p> <p>(2) 地域人材・資源を生かした「総合的な学習の時間」の推進（1年生の「夢授業」、2年生の「立志式」を実施予定）</p> <p>(3) コミュニティスクールの推進</p>
--